

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時 (当初の予定日)	令和5年11月29日(水)午後2時
開催場所	保健センター1階 大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ <input type="radio"/> 一部不可 ・ <input type="radio"/> 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	別紙のとおり
会議結果	
発言内容・ 発言者名(主な発言要旨)	
提出資料	別紙のとおり
その他	

## 令和5年度第3回食育推進会議次第

### 1 開会

### 2 議 事

(1)進捗状況調査結果について

(2)農業祭の報告

(3)食育推進会議委員からの食育活動報告

(4)食育HP委員会より（報告）

### 3 その他

### 4 閉 会

## 小金井市食育推進会議委員名簿

令和5年11月29日

No.	選出区分	氏名
●市民（5人）		
1	公募市民	まきの 牧野 まや
2	公募市民	ささべ 雀部 かおり
3	公募市民	よこやま えりこ 横山 英吏子
4	公募市民	せのお かずこ 妹尾 和子
5	公募市民	おおた あつたね 太田 篤胤
●学識経験者（2人）		
6	実践女子大学生生活科学部食生活科学科准教授	やまぎし ひろみ 山岸 博美
7	野菜料理研究家	まつしま あおい 松嶋 あおい
●関係機関の役員又は職員（7人）		
8	小金井市立小金井第二中学校栄養士	はせがわ いくこ 長谷川 郁子
9	小金井市立小中学校PTA連合会	きたわき りえ 北脇 理恵
10	小金井市社会福祉協議会	いのうえ まさこ 井上 正子
11	東京都小金井歯科医師会	はっとり さとし 服部 聡
12	小金井市農業振興連合会	たかはし けんたろう 高橋 健太郎
13	東京むさし農業協同組合小金井支店	おおいし かずたか 大石 和孝
14	小金井市商工会	ほうや たくみ 保谷 匠
●関係行政機関の職員（1人）		
15	東京都多摩府中保健所	まつもと ゆうこ 松本 祐子
●市の職員		
16	小金井市福祉保健部長	おおさわ ひでのり 大澤 秀典

小金井市食育推進計画進捗状況報告（令和4年度実施分）

※1 自己評価（対前年度進捗度）について  
 A＝充実・強化（事業を新たに実施した。）  
 B＝前年度同様（前年度と同様の内容で実施した。）  
 C＝縮小  
 D＝未着手（該当事業に取り組みなかった。）

※2 効果があったと思われる食育の視点（該当するものに「○」を付けてください。複数回答可）  
 ①食育という言葉や意味を知っている  
 ②毎日きちんと朝食を食べる食生活の啓発  
 ③家族・友人等と一緒に食事をする意識の育成・啓発  
 ④パランスのとれた食事をすすめる栄養バランスを意識した食生活の啓発  
 ⑤野菜は一日350g摂取を目標とする  
 ⑥地場野菜の普及等、地産地消の食生活の啓発・食文化の伝承  
 ⑦食品ロスの軽減等環境に配慮した食生活の啓発

No.	頁	番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況					自己評価 対前年 進捗度 ※1	担当課		
					令和3年度事業実績 （具体的な数値等）	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 （具体的な数値等）	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③			④	⑤
4 具体的な施策の展開 “Koganei-Style”の地域展開					①啓発活動の充実										
食育月間・食育日の取組					<p>●食育行事として、歯科医師会主催の「歯と口の健康フェア」イベントにおいて、下記の取組を推進（場所：保健センター）</p> <p>●食育コナーズでは、各種食育展示や食育クイズを実施した。また歯とロククイズの答えを展示物の中に2つ入れた。</p> <p>●野菜120g生・加糖の果実（抱い捨て）の両手に生・片手に加糖の野菜を乗せて展示</p> <p>●一人ひとりが1回の食事に食べたい野菜の量</p> <p>●週3回ボトリングの活動</p> <p>●加工食品に食べまわらぬ啓蒙</p> <p>●食育クイズ（食育印刷委員主催）</p> <p>●野菜の花の写真を用いて、何の野菜の花か当て参加人数：314人（大人167人、子ども147人）</p> <p>●食育の日の取組として毎月19日に乳幼児へ食育に関する記事を配信した。</p> <p>配信者数：1447名</p>	B	B	○	○	○	○	○	○	○	健康課
食育月間（6月）及び食育の日（毎月19日）にのみ、食育推進委員会等を行い、市報、市HP・市立保育園、小中学校等で食育の啓発活動を行う。					<p>●食育行事として、「お家の日」を企画し、マナーや持ち方等指導を行う。</p> <p>●毎月24日は「小金井和食の日」和食立を推進し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている</p> <p>●小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した取組</p> <p>●毎月11日は「お家の日」を企画し、マナーや持ち方等指導を行う。</p> <p>●毎月24日は「小金井和食の日」和食立を推進し、和食を広めるとともに和食について学ぶ機会を作っている</p> <p>●小金井市の農家で作られている「ルバーブ」が旬を迎えるためルバーブを使用した取組</p> <p>●毎月11日は「お家の日」を企画し、マナーや持ち方等指導を行う。</p>	A	A	○	○	○	○	○	○	○	学務課

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		幼児があつたと思われる保育の視点 ※2						
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	①	②	③	④	⑤
1	34	1	保育月間・保育の取組	<p>保育月間(6月)及び保育の日(毎月19日)に因み、食育に関する活動や食育の啓発活動を行う。</p> <p>けやき保育園 ・じゃが芋作り 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p>	<p>令和3年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>・じゃが芋作り ・新メニューの開発と試作 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等</p> <p>今後も継続していく。</p>	B	<p>令和4年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>・じゃが芋作り ・新メニューの開発と試作 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等</p> <p>今後も継続していく。</p>	自己評価 (対前年度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
				<p>けやき保育園 ・じゃが芋作り 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p>	<p>令和3年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>・じゃが芋作り ・新メニューの開発と試作 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等</p> <p>今後も継続していく。</p>	B	<p>令和4年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>・じゃが芋作り ・新メニューの開発と試作 目的 わくわくを味わい、じゃが芋に調味料を押しつけてきたおやつやおやつにのせてじゃが芋を食べてみる。自分たちで収穫したじゃが芋が料理され、食べ物が調味料を持つ。年長児に向けて包丁、ピーラー(動画)を知り、安全な包丁、ピーラーの使い方を知り、調理することに興味を持つ。</p> <p>令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等</p> <p>今後も継続していく。</p>	自己評価 (対前年度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況					令和4年度進捗状況					自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度進捗状況					自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度進捗状況					自己評価 (対前年度) ※1
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)				令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1				令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度) ※1			
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	食育月間(6月)及び食育の日(毎月19日)に因み、食育に関するイベント等を行い、市の啓発活動を行う。	さくら保育園 ・日頃から給食食材を掲示してもらっている業者さんの野菜を講師から「金沢市の地産野菜」を講師から「真実」園児や保護者の保護者にも見せようという、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシレシを写真で紹介したり、保護者が家庭で作ることができるようレシレシを用意した。 ・旬野菜を使った献立を意識的に献立に入れているようにしている。 ・ジャガイモ掘り(幼児クラス)・サツマイモ掘り(年長クラス)を計画し、自分たちで収穫し、自分たちが作った野菜を調理して食べている。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べながら、幼児クラスが年輪別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い、発酵の過程なども見ることができた。(その他、餃子ハイ・クッキー・ビスケット)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等 今後も継続していく。	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1						
1	34	1	食育月間・食育の日の取組	食育月間(6月)及び食育の日(毎月19日)に因み、食育に関するイベント等を行い、市の啓発活動を行う。	さくら保育園 ・日頃から給食食材を掲示してもらっている業者さんの野菜を講師から「金沢市の地産野菜」を講師から「真実」園児や保護者の保護者にも見せようという、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシレシを写真で紹介したり、保護者が家庭で作ることができるようレシレシを用意した。 ・旬野菜を使った献立を意識的に献立に入れているようにしている。 ・ジャガイモ掘り(幼児クラス)・サツマイモ掘り(年長クラス)を計画し、自分たちで収穫し、自分たちが作った野菜を調理して食べている。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べながら、幼児クラスが年輪別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い、発酵の過程なども見ることができた。(その他、餃子ハイ・クッキー・ビスケット)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等 今後も継続していく。	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1						
2	34	2	小倉井らしい食生活の推進	乳幼児から高齢者までを対象にした講座の開催を通じた食生活の推進を図りたい、野菜を中心とした栄養バランスの良い食生活を推進する。	さくら保育園 ・日頃から給食食材を掲示してもらっている業者さんの野菜を講師から「金沢市の地産野菜」を講師から「真実」園児や保護者の保護者にも見せようという、給食室前に掲示している。 ・給食で提供したレシレシを写真で紹介したり、保護者が家庭で作ることができるようレシレシを用意した。 ・旬野菜を使った献立を意識的に献立に入れているようにしている。 ・ジャガイモ掘り(幼児クラス)・サツマイモ掘り(年長クラス)を計画し、自分たちで収穫し、自分たちが作った野菜を調理して食べている。 ・年長児が野菜を育てて、収穫した野菜を給食で食べながら、幼児クラスが年輪別やクラス別で行った。年長児のパン作りでは生地作りから行い、発酵の過程なども見ることができた。(その他、餃子ハイ・クッキー・ビスケット)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等 今後も継続していく。	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和3年度事業実績(具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年度)※1						



No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況								
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥
7	34	7	フードドライブ	<p>定数で余っている食品を販売店・協賛企業・個人・自治体・福祉施設等に提供し、協賛企業等に届けることにより、食品ロスを削減する。</p>	<p>実施回数：19回 参加人数：75221人 食品回収量：865.4キロ</p>	B	<p>回収した食品は生活困難世帯の子ども、食品ロス削減に前市内在住者協賛会と連携して回収し、市内各店舗を通じて、食料も利用可能なものを活用し、廃棄を減らし、食品ロスの削減に努め継続してまいります。</p>	<p>回収した食品は生活困難世帯の子ども、食品ロス削減に前市内在住者協賛会と連携して回収し、市内各店舗を通じて、食料も利用可能なものを活用し、廃棄を減らし、食品ロスの削減に努め継続してまいります。</p>								ごみ対策課
8		8	食品ロス削減推進 協力店・事業所 認定制度	<p>食品ロスと食への関心の削減に積極的に取り組む事業者を認定し、市内には協力事業所として認定している。市民に削減の重要性について、食品ロス削減の重要性についての理解と関心を深め、市民・事業者・行政が連携協力して食品ロスの削減に向けた取組を促進する。</p>	<p>認定店14件</p>	B	<p>認定店（認定事業所）数の増加と、市民へのより効果的な周知方法について検討し、食品ロスの削減に寄与していく。</p>	<p>食品ロス削減推進認定事業所を認定する等、認定店（認定事業所）においてより多くのメリットを募集できること、市民への効果的な周知啓発活動を行うこと、市民・事業者・行政の連携を図ることを目指す。</p>								ごみ対策課
9		9	食品ロス削減期間 の取組	<p>食品ロス削減期間（10月）は、日常生活の中で無理なく実践できる食品ロスの削減に向けた取組の一つとして、積極的に食べる物を購入する場合は、手前に取り扱う（調理・消費）から減らす（作り過ぎを減らす）という考えで行い、食品ロスを削減すると同時に食品ロス発生していること、各店舗と連携し、食品ロスの削減に努め、食品ロスの削減に努め継続してまいります。</p>	<p>市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 2回</p>	A	<p>市内セブンイレブン全店への手前どりPOPの掲出 2回</p>	<p>食品ロス削減期間（10月）は、日常生活の中で無理なく実践できる食品ロスの削減に向けた取組の一つとして、積極的に食べる物を購入する場合は、手前に取り扱う（調理・消費）から減らす（作り過ぎを減らす）という考えで行い、食品ロスを削減すると同時に食品ロス発生していること、各店舗と連携し、食品ロスの削減に努め、食品ロスの削減に努め継続してまいります。</p>	<p>今後は、セブンイレブンや協力店以外の店舗にも食着源を大切にするための啓発に協力していきたい。</p>							ごみ対策課



No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			令和5年度進捗状況				
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤
②情報の整備															
“Koganei-Style” の地域展開															
10	35	1	食育市民アンケート調査	市民の食育の意識を把握するため、本計画の前年度にアンケート調査を実施する。	市民アンケート調査は前年に行うた。実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし	市民アンケート調査は前年に行うため、実施なし
11	35	2	食育ホームページ	市民アンケート調査による情報に基づき、地域の実情を踏まえ、食育委員会を組織し、食育活動及び食生活に関する情報を広く提供することを目指す。	市内小中学校との相互リンク济教 小学校8校、中学校2校の追加や、地域の関係機関との連携を強化し、食育活動の充実を図る。また、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	食育ホームページは令和4年度に実施する予定。近くは、食育活動の推進を図るため、食育ホームページを開設し、食育活動に関する情報を広く提供することを目指す。	
12	35	3	食育ホームページ	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	市民アンケート調査の結果、関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。	関係各課の食育に関する事業を紹介する。
13	35	4	地場野菜等の情報提供	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。	地場野菜等の種類、栽培時期、発芽時期等の情報を食育ホームページ等で提供する。

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況				令和4年度進捗状況				自己評価 (対前年度進捗度) ※1	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	担当課		
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	①	②	③	④				⑤	⑥
<b>“Koganei-Style”の地域展開</b>																	
<b>③各種団体等の食育推進に対する促進策</b>																	
14	35	1	食育ホーム・ベージュの活用	各種食育活動や食育コーディネーター活動等の紹介等、情報発信を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	担当課
				多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	A	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	A	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	A	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	A	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	多くの方に、小金井市食育ホーム・ベージュで地域の食育活動や野菜の取組みについて、さまざまな情報を掲載している。	健康課
15	35	2	食育推進の人材を活用	市内の食育推進の人材を活用して市民協働による食育の推進を図る。	A	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	A	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	A	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	A	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	今後も、市民ボランティアの方々と協働して食育推進を図るよう引き続き努めている。	健康課
16	35	3	親子農業体験の促進	生産体験の機会促進に向け、親子農業体験の機会を創出する。	B	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	B	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	B	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	B	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	親子農業体験(ダイコンの収穫体験) 対象：親子参加者：約69人参加 開催場所：東町の畑	経済課
17	35	4	学童取組体験の促進	学童取組体験の機会促進に向け、学童取組体験の機会を創出する。	B	中止した学校以外の進捗については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	B	中止した学校以外の進捗については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	ジャガイモ等の学童取組体験 対象：市内公立小学校9校 期間：令和3年6月から10月まで 参加者数：1,763人 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった学校が一部あったが、中止となった学校へは、児童数分の収穫品を贈り、親子農業体験の機会を創出する。	B	ジャガイモ等の学童取組体験 対象：市内公立小学校9校 期間：令和3年6月から10月まで 参加者数：1,915人 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となった学校が一部あったが、中止となった学校へは、児童数分の収穫品を贈り、親子農業体験の機会を創出する。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	B	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、親子農業体験の機会を創出する。また令和4年には、新しい市民ボランティアを募集する予定である。	経済課
18	35	5	地場野菜の販路開拓	地場野菜の販路開拓に向け、地場野菜の販路開拓の機会を創出する。	B	野菜的規格についての認識の不足から野菜の品質の良くないものが、令和3年度も野菜の産出量を増やしている。また令和4年度は、地場野菜の産出量の増加を図る。また令和4年度は、地場野菜の産出量の増加を図る。	B	野菜的規格についての認識の不足から野菜の品質の良くないものが、令和3年度も野菜の産出量を増やしている。また令和4年度は、地場野菜の産出量の増加を図る。また令和4年度は、地場野菜の産出量の増加を図る。	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	B	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	B	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	地場野菜の産出量の増加を図るため、学童取組、親子農業体験、市民ボランティアの活用による販路開拓の実施を図る。	経済課
19	36	6	料理講習会	地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	D	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	D	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	D	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	D	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	地場野菜の活用による料理講習会の開催を図る。	経済課

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			初見があったと思われる 食育の視点 ※2						
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
20	36	7	新たな畜産物の産 及距離	<p>■中場野菜を使用した料理教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず。</p> <p>■学校給食 パンを年に1回、市内公立小中学校 校舎で提供。その他各小、中学校でル ランブル・ルバーブ、ルバーブチーズケーキ・ル バーブといちごのマドレーヌ ルバーブマドレーヌ、ルバーブとクリ ームのバリハリ揚げ・鶏のから揚げル バーブソース・ルバーブといちごのジャム などを提供。</p>	B	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>									
21	36	8	生産者との交流 運	<p>生産者との交流や生産体験の 機会として、農地等の見学会 を行う。</p>	D	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>	<p>市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体 験終了後、参加者と農家の意見交換会を美 生産者との交流や生産体験機会を通して身 近な農業の大切さを感じていただける機会 となった。</p>	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>	A	<p>市民を対象に募集し、2箇所の農地で収穫体 験終了後、参加者と農家の意見交換会を美 生産者との交流や生産体験機会を通して身 近な農業の大切さを感じていただける機会 となった。</p>							
22	36	9	野菜収穫体験	<p>食品リサイクル堆肥を対象に滋 養成分の測定と食品リサイ クル堆肥を使ったプランター 野菜の収穫体験を行う。</p>	D	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感 染症の状況を踏まえながら、生産者との交流 や生産体験機会を通じて身近な農業の大切 さを感じていただく取組を継続してい く。</p>	<p>市民向けの収穫体験を実施 主回(参加者：①16名②5名③9名) ■公衆利用者に設置される生ごみ処理機利用者、家 庭用生ごみ処理機から出る生ごみ処理物の戸別回収 を実施している世帯及び生ごみ投入参加者を対 象に収穫体験を実施 全回(参加者：①12名②7名③11名)</p>	<p>市民向けの収穫体験では、資源循環の説明 を併せて行うことで、ごみの減量及び資源 生ごみ処理機を利用されている方向けの取 組も同時に実施し、ごみの減量及び資源 循環について、並行してごみ減量への意識が 高くなり、収穫物の食べ方紹介では大粒の葉を 使用したレシピ等にも興味を持ってもら い、資源循環の大切さに加え、ごみの発生 抑制の重要性の周知も図ることができた。</p>	B	<p>市民向けの収穫体験では、資源循環の説明 を併せて行うことで、ごみの減量及び資源 生ごみ処理機を利用されている方向けの取 組も同時に実施し、ごみの減量及び資源 循環について、並行してごみ減量への意識が 高くなり、収穫物の食べ方紹介では大粒の葉を 使用したレシピ等にも興味を持ってもら い、資源循環の大切さに加え、ごみの発生 抑制の重要性の周知も図ることができた。</p>							
23	36	10	保青圃出張講座	<p>公立保青圃の圃場を対象に滋 養成分の測定と食品リサイ クル堆肥を使ったプランター 野菜の収穫体験を行う。</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中 止代として、公立保青圃向けに紙芝居を作 製した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 代として、公立保青圃向けに紙芝居を作製した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 代として、公立保青圃向けに紙芝居を作製した。</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 代として、公立保青圃向けに紙芝居を作製した。</p>							

No.	頁	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		初めがあったと思われる 食育の視点 ※2												
		事業内容	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦				
								1	2	3	4	5	6	7				
			<b>生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進</b>															
			<b>子育て支援</b>															
24	37	1	マタニティクッキング 妊婦とそのパートナー、産後1年以内の母親を対象に、産後の体調管理、育児の負担軽減、食育の重要性を伝えるための講座・実習・試食を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：2回6人 (平日2回、土曜日2回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	C	産内に入るまで動いている方が多いため、産後1年以内の母親を対象に、産後の体調管理、育児の負担軽減、食育の重要性を伝えるための講座・実習・試食を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：2回6人 (平日2回、土曜日2回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	C	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：2回6人 (平日2回、土曜日2回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
25	37	2	両親学級 妊婦とそのパートナーを対象に、産後の体調管理、育児の負担軽減、食育の重要性を伝えるための講座・実習・試食を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：4回 (平日1回、土曜日3回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：4回 (平日1回、土曜日3回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 実習回数：4回 (平日1回、土曜日3回) 参加者数：妊婦44人、パートナー8人(実習中の密を避けるため、各家庭2名までとした。)	A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
26	37	3	離乳食教室 生後4～5、6～7、8～11か月児を対象に、離乳食の準備・調理・実践を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 離乳食教室：12回 参加者数：83人	B	2年間どの教室も定員を9人にしてきたが、今年も引き続き定員を9人に設定し、引き続き実施する予定である。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 離乳食教室：12回 参加者数：83人	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 離乳食教室：12回 参加者数：83人	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
27	37	4	乳幼児食育メニュー 健康ナビ登録者から希望者に対して、メニューに合わせた食育等の情報提供を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 健康ナビ登録者から希望者への食育メニュー提供回数：2189人	B	今後も引き続き定員を9人に設定し、引き続き実施する予定である。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 健康ナビ登録者から希望者への食育メニュー提供回数：2189人	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 健康ナビ登録者から希望者への食育メニュー提供回数：2189人	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
28	37	5	こどもクッキング 未就学児とその保護者を対象に、調理・試食を含む食育体験を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) こどもクッキング回数：3回 参加者数：26人(親子13組)	C	2～3歳と3～4歳という種で募集している。試食がなくとも調理体験などで参加者が楽しめるよう工夫していきたい。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) こどもクッキング回数：3回 参加者数：26人(親子13組)	C	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) こどもクッキング回数：3回 参加者数：26人(親子13組)	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
29	37	6	乳幼児保健相談 (のびのび広場) 乳幼児を対象に、地域センター等で行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 保健相談回数：164人	B	令和4年度より丸山台集会所施設、上水会館の協力を得て実施する予定。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 保健相談回数：164人	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 保健相談回数：164人	A	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
30	37	7	栄養個別相談 管理栄養士によるアレルギー食や子ども食の食事相談を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 栄養個別相談回数：10回 参加者数：22人	B	必ずしも年間予定の日ばかりではなかったが、不在以外は対応している。他に電話対応は、116件あった。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 栄養個別相談回数：10回 参加者数：22人	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) 栄養個別相談回数：10回 参加者数：22人	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
31	37	8	エンジェル教室 5か月児とその保護者を対象に、育児の負担軽減、食育の重要性を伝えるための講座・実習・試食を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) エンジェル教室回数：2回 参加者数：145人	B	栄養士に質問できる時間をつくり、母親の不安を軽減につなげたと思われ、試食の中止(コロナウイルス感染症予防対策のため)が軽減中で、すりつぶし体験食に対する関心が高まっていることと、離乳食完了食を進めたいという声も聞かれた。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) エンジェル教室回数：2回 参加者数：145人	B	令和4年度より、平日と土曜日のプログラムに変更し、定員も増やしてパートナーとの参加可とした。また、産後1年以内の母親を対象とした。その分の予算を各年度の離乳食完了食に回すことにした。	令和4年度事業実績 (具体的な数値等) エンジェル教室回数：2回 参加者数：145人	B	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦

No.	頁	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		令和4年度進捗状況									
		事業の内容	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度)	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
				令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況	令和5年度進捗状況
		初期があったと思われる 食育の視点 ※2													
		令和4年度進捗状況													
		令和4年度事業実績 (具体的な数値等)													
		令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等													
		自己評価 (対前年 進捗度)													
		①													
		②													
		③													
		④													
		⑤													
		⑥													
		⑦													
32	38	1	年間食育計画をもとに、食育計画や年間行事計画を制定し、食育活動を実施する。	年間を通して子どもと食を共にすることから、食育を大切にするには、食育事業を実施した。	今後とも継続して取り組んでいく。	B	年間を通して子どもと食を共にすることから、食育を大切にするには、食育事業を実施した。	今後とも継続して取り組んでいく。	○	○	○	○	○	○	○
33	38	2	職業体験として、園児が収穫したイモを、調理して食べる。	職業の方の協力により、園児で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらのクッキング保育で使った。(公立全園5回以上開催)	今後とも継続して取り組んでいく。	B	職業の方の協力により、園児で育てた野菜等を子どもが収穫体験し、それらのクッキング保育で使った。(公立全園5回以上開催)	今後とも継続して取り組んでいく。	○	○	○	○	○	○	○
34	38	3	給食だよりを配布・掲示し、毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図る。特に、食育月間・食育の取組を行う。	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図るよう情報提供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、今後もさらに内容を充実していく。	B	毎月、給食だよりを発行し、保護者の食に対する不安解消や家庭での食育の充実を図るよう情報提供を行った。	保護者が食に対して興味を持てるよう、今後もさらに内容を充実していく。	○	○	○	○	○	○	○
35	38	4	園児がクッキング体験をし、食育の知識やその大切さを学ぶ。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、可能な範囲で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、可能な範囲で実施した。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、可能な範囲で実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、可能な範囲で実施した。	○	○	○	○	○	○	○
36	38	5	食育アレルギー等必要に応じて保護者と園児との個別相談を行う。	食育アレルギーがある子どもの保護者と個別に個別面談を行い、医師による生活管理指導に基づいた対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にことり、対応していく。	B	食育アレルギーがある子どもの保護者と個別に個別面談を行い、医師による生活管理指導に基づいた対応で給食に反映させた。	今後も保護者と連携を密にことり、対応していく。	○	○	○	○	○	○	○
37	38	6	栄養士による出組講座	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、実施した。	D	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、実施した。	新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながら、実施した。	○	○	○	○	○	○	○
38	38	7	生産者・食料品業者との交流	地域の生産者・食料品業者と交流し、食育活動を行う。	農家の方にご協力をいただき半握りを行い、給食の食材として利用した。	B	農家の方にご協力をいただき半握りを行い、給食の食材として利用した。	農家の方にご協力をいただき半握りを行い、給食の食材として利用した。	○	○	○	○	○	○	○
39	38	8	地域向け食育活動	例年、地域の子どもを対象に、全5園で園庭開放利用者の食育相談を行った。	例年、地域の子どもを対象に、全5園で園庭開放利用者の食育相談を行った。	D	例年、地域の子どもを対象に、全5園で園庭開放利用者の食育相談を行った。	例年、地域の子どもを対象に、全5園で園庭開放利用者の食育相談を行った。	○	○	○	○	○	○	○
40	38	9	地域連携の推進	保健センター・幼稚園等との連携を推進する。	保健センター・幼稚園等との連携をより深くし、関係性を築き、食育活動の充実を図る。	B	保健センター・幼稚園等との連携をより深くし、関係性を築き、食育活動の充実を図る。	保健センター・幼稚園等との連携をより深くし、関係性を築き、食育活動の充実を図る。	○	○	○	○	○	○	○
41	38	10	家庭と協働した食育活動	家庭と協働し、食育活動を行う。	家庭と協働し、食育活動を行う。	B	家庭と協働し、食育活動を行う。	家庭と協働し、食育活動を行う。	○	○	○	○	○	○	○

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況				令和4年度進捗状況				幼児があつたと思われる 食育の視点 ※2			
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>生涯にわたる食育推進 ①乳幼児と保護者の食育推進</b>																
42	38	1	子育て相談会	<p>保護者に対する食事や栄養とテーマにした専門家による講演会及び相談会を行う。</p> <p>【本町児童館】 離乳食講座等 4回/32人 ・離乳食講座 2回/14人 ・幼児食講座 2回/18人</p> <p>【町児童館】 離乳食講座 3回/32人</p> <p>【町井南児童館】 離乳食相談会 2回/19人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 5回/69人 ・離乳食講習会 3回/22人 ・食育相談会 2回/47人</p>	<p>令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理・炊飯スタイルを中止した他、定員を半減以下に設定して実施した。</p> <p>次年度も感染対策を継続しつつ実施していく。</p>	<p>令和3年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>【本町児童館】 離乳食講座等 4回/32人 ・離乳食講座 2回/14人 ・幼児食講座 2回/18人</p> <p>【町児童館】 離乳食講座 3回/32人</p> <p>【町井南児童館】 離乳食相談会 2回/19人</p> <p>【緑児童館】 離乳食講習会等 5回/69人 ・離乳食講習会 3回/22人 ・食育相談会 2回/47人</p>	<p>令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理・炊飯スタイルを中止した他、定員を半減以下に設定して実施した。</p> <p>次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。</p>	<p>自己評価 (対前年 進捗度) ※1</p> <p>B</p>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
43	38	2	乳幼児食事会	<p>子育てひろばや幼児グループで食を通じた交流会(備前)を実施し、食育に対する理解を深める)を行う。</p>	<p>令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理や喫食のある事業は中止した。</p> <p>子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。</p> <p>次年度も感染対策をしつつ実施できる場合は継続して実施していく。</p>	<p>令和3年度事業実績 (具体的な数値等)</p> <p>【本町児童館】 幼児グループ食事会 実施せず</p> <p>【町児童館】 幼児グループ食事会 4回/72人</p> <p>【町井南児童館】 幼児グループ食事会 4回/52人</p> <p>【緑児童館】 幼児グループ焼き手、食事会 2回/32人</p>	<p>令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で調理のある事業は中止したが、二班の形で焼き手やお弁当を指導しての食事会をした。</p> <p>子育てひろばの「たより」にて会食メニューを掲載紹介した。</p> <p>次年度は感染対策を行いつつコロナ禍前の方法・規模で事業実施予定。</p>	<p>自己評価 (対前年 進捗度) ※1</p> <p>A</p>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	



No.	頁	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			初級があったと思われる 食育の視点 ※2							
				令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
			<b>生涯にわたる食育推進 ②学齢期の食育推進 ア小学校</b>														
44	39	1	学習指導要領に基づき、小学校ごとの食に関する全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	農家見学会等、一部実施が困難なものもあったが、小学校では食に関する全体計画をもち、生活科の学習や野菜を育てる体験学習を実施した。コロナ禍において、食育の目標達成が困難なものもあった。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
						C				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
45	39	2	栄養教諭、食育リーダー、中・高生を委員として、給食の改善活動を通して、食育の推進を図る。	食育リーダー会議では、各校の取組みの共有を行った。なお、講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となったため、参加していない。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
						A				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
46	39	3	地域と交流した食育活動	給食日より、校内放送等での取組を含め、地域の生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者等との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引続き指導員・栄養教諭等の支援をする。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
						B				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
47	39	4	家庭と連携した食育支援	望ましい食習慣の取組ができるよう支援するため、給食日より等の情報提供を充実させる。	小中学校全14校で給食日よりを毎月実施している。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
						A				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
48	39	5	栄養講習会(親子ワークショップ開催)	小学生とその保護者を対象に、生活習慣病予防につながるテーマについて講義・実践を行う。	コロナ禍でのお子さま対象の事業のため、集客が難しくかった。来年度は対象年齢を下げて実施予定。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
						C				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	





No.	頁	事業番号	事業の内容	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		効果があったと思われる 食育の視点 ※2								
				令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
<b>生涯にわたる食育推進 ③青年期から高齢期の食育推進</b>																
51	40	1	学校における食育指導要領に基づき、学校ごとの食に関する指導全体計画を作成し、積極的に食育の推進を図る。	中学校では、食に関する全体計画のもとに、保健体育の時間に健全な心身の成長を促すための学習を実施した。食育に関する指導においては、調理科の授業にも積極的に取り組むが、健康的に食する習慣を身に付けるための学習を推進した。	学習指導要領に示された内容を踏まえ、改めて食育に関する指導を行うよう指導する。計画の充実に努むよう指導する。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度)※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
				中学校では、食に関する全体計画のもとに、保健体育の時間に健全な心身の成長を促すための学習を実施した。食育に関する指導においては、調理科の授業にも積極的に取り組むが、健康的に食する習慣を身に付けるための学習を推進した。	学習指導要領に示された内容を踏まえ、改めて食育に関する指導を行うよう指導する。計画の充実に努むよう指導する。	令和3年度に実施した取組み、及び令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績(具体的な数値等)	自己評価(対前年進捗度)※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
52	40	2	給食を通じた食育	栄養教諭、食育リーダー等を中心に、授業や給食委員会の活用など、給食を推進していき、食育推進委員を身につけていく。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。なお、講演会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止となったため、参加していない。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	食育リーダー会議では、各校の取組みの情報共有を行った。	A								
53	40	3	地域と交流した食育活動【再掲】	給食日より、校舎開放演習での給食を含め、地域生産者等と児童・生徒が交流する。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引継ぎ指導員・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引継ぎ指導員・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	地域の生産者との交流については、授業の一環として実施している学校がある。引継ぎ指導員・栄養教諭と連携を取り、食育推進等の支援をする。	B								
54	40	4	家庭と連携した食育支援【再掲】	望ましい食習慣の取組ができるよう、支援するため、給食に関する情報提供を充実させていく。	小中学校全14校で給食によりを毎月発行している。	小中学校全14校で給食によりを毎月発行している。	小中学校全14校で給食によりを毎月発行している。	A								
55	40	5	ミニバンフレットによる情報発信	青年向けの食育に関するミニバンフレットを作成し、関係機関に配る。	青年向けミニバンフレットを成人式(中止のため、取りに来た方のみ)で800部用意した。	青年向けミニバンフレットを成人式(中止のため、取りに来た方のみ)で800部用意した。	青年向けミニバンフレットを成人式(中止のため、取りに来た方のみ)で800部用意した。	B								

No.	頁	事業番号	事業名称	事業の内容	令和3年度進捗状況			令和4年度進捗状況			初見があったと思われる食育の視点 ※2						
					令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年度進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					<b>生涯にわたる食育推進</b>												
					<b>③青年期から高齢期の食育推進</b>												
					<b>イ成人・高齢者の食育推進</b>												
56	41	1	栄養個別相談	生活習慣病等、個人や二人のニーズに合わせて栄養に関わる相談を行う。	実施回数：10回 実施者数：19人	B	月1回の決められた日時にくるは、難しいという意見もあり、聞きたいときに電話ですませたい方も多く、電話や窓口に来たついでに一方に相談が対応している。なお、電話相談は対応した。	実施回数：5回 実施者数：13人	月1回の決められた日時にくるは、難しいという意見もあり、聞きたいときに電話ですませたい方も多く、電話や窓口に来たついでに一方に相談が対応している。なお、電話相談は対応した。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	健康課
57	41	2	栄養講習会	生活習慣病や健康づくりに関するテーマを設定し、テーマに沿って栄養講習会や調理実習を行う。	栄養講習会：5回(小学生とその保護者向け) 参加者数：33人	B	定員は昨年同様、調理実習・試食はなしだが、講師と子どもで引き付けるだけでは足りない。また、調理実習は対応してはいるが、意見なども伺っていない。	栄養講習会：5回(小学生とその保護者向け) 参加者数：28人	定員は昨年同様10人、講義とデモンストラシオンも少なくなかった。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	健康課
58	41	3	健康づくりワークショップ ローアアップ指導教室	糖尿病や骨粗しょう症など、疾病や年齢に合わせて栄養講習会や予防や健康に対する意識の啓蒙、生活習慣の改善を支援する。	糖尿病予防教室：9人 骨粗しょう症予防教室：8人 いらいき健康教室：7人 血管若返り教室：7人 親子健康教室：中止 親子健康教室：中止 ボクティマイズ教室：9人 計33人	B	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な動員は行っていない。	糖尿病予防教室：9人 骨粗しょう症予防教室：7人 いらいき健康教室：8人 血管若返り教室：10人 親子健康教室：9人(大人4人子ども5人) ボクティマイズ教室：8人 ボクティマイズ後習芸1人 計68人	昨年に引き続き、コロナ禍のため、積極的な動員は行っていない。令和5年にコロナ禍が緩和されれば、積極的な動員を行う予定である。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	健康課
59	41	4	特定保健指導	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高くなった方に対し、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や健康を支援する。	特定保健指導対象者数 196人 積極的支援：196人 特定保健指導利用者数 121人 積極的支援：18人	B	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高くなった方に対し、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や健康を支援する。	特定保健指導対象者数 555人 積極的支援：206人 特定保健指導利用者数 105人 積極的支援：35人	特定健康診査において生活習慣病を発病するリスクが高くなった方に対し、特定保健指導を行うことにより、疾病の予防や健康を支援する。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	保険年金課
60	41	5	成人学校	食に関する様々なテーマを取り上げた講座等を開催する。	令和3年度4月14日～令和3年9月9日 原則週水曜日本館実施(全10回) 延べ参加者570人	B	令和3年度以降は、深掘り教室に統合した。	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則週水曜日本館実施(全30回) 延べ参加者851人	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則週水曜日本館実施(全30回) 延べ参加者851人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	公民館
61	41	6	成人学校 「菜園教室」	【目的】 類に汗がはたらき、野菜の共同作業を通して作る喜びを分かち合い、また、土起こしから収穫までを体験する。	令和3年度4月14日～令和3年9月9日 原則週水曜日本館実施(全10回) 延べ参加者570人	B	令和3年度以降は、深掘り教室に統合した。	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則週水曜日本館実施(全30回) 延べ参加者851人	令和4年4月6日～令和5年3月8日 原則週水曜日本館実施(全30回) 延べ参加者851人	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	公民館
62	41	7	60歳以上・80歳以上 運動の推進	生涯を通じて健康的な生活を送ることができるよう、60歳以上・80歳以上の方の増加を目標とする。	生涯を通じて健康的な生活を送ることができるよう、60歳以上・80歳以上の方の増加を目標とする。	B	生涯を通じて健康的な生活を送ることができるよう、60歳以上・80歳以上の方の増加を目標とする。	生涯を通じて健康的な生活を送ることができるよう、60歳以上・80歳以上の方の増加を目標とする。	生涯を通じて健康的な生活を送ることができるよう、60歳以上・80歳以上の方の増加を目標とする。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	健康課

No.	頁	事業番号	事業の内容	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		効果があったと思われる点 ※2							担当課		
				令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年度) ※1	令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年度) ※1	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦			
63	41	8	高齢者や精神障がい者の健康的な食生活と安否確認等のため食事の配食を行うことにより、自立した食生活を支援する。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 配食サービス 配食数：3,929食	B	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 配食サービス 配食数：4,860食	B	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等 安否確認や栄養に配慮した食事を届けることには重要であると考え、今後も継続する。	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	自立生活支援課	
			高齢者や精神障がい者の健康的な食生活と安否確認等のため食事の配食を行うことにより、自立した食生活を支援する。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 配食サービス 配食数：3,929食	B	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 配食サービス 配食数：4,860食	B	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等 安否確認や栄養に配慮した食事を届けることには重要であると考え、今後も継続する。									介護福祉課
64	41	9	高齢者が介護予防の知識を得て、地域でできるだけ自立した生活が送れるよう高齢者が参加している通いの場、フレイル予防の出向き、介護予防・フレイル予防の知識(栄養・口腔)についての講話を行う。	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 完全自主会場 14会場において実施。202人		令和3年度事業実績 (具体的な数値等) 完全自主グループ 小金井さくら体操完全自主グループ 19名 短期集中予防サービスの利用者等 37名		令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等 短期集中予防サービスの参加者を対象に介護予防・フレイル予防のための栄養について管理栄養士の講座を実施。 令和5年度は地域の高齢者を対象に講座を開催し、高齢期の栄養のポイントについて具体的に啓発を行っていく。									介護福祉課
			高齢者向け食育に関するミニハンフレットによる情報発信	令和3年度事業実績 (具体的な数値等) ミニハンフレット 14会場において実施。202人		令和3年度事業実績 (具体的な数値等) ミニハンフレット 14会場において実施。202人		令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等 ミニハンフレットを作成し、関係者に配布する。									健康課

No.	頁	事業番号	事業の内容	令和3年度進捗状況		令和4年度進捗状況		効果があったと思われる 食育の視点 ※2								
				令和3年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和3年度に実施した取組み、及び 令和4年度以降の課題、対策等	令和4年度事業実績 (具体的な数値等)	自己評価 (対前年 進捗度) ※1	令和4年度に実施した取組み、及び 令和5年度以降の課題、対策等	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
<b>5 計画の推進に向けて</b>																
<b>(1) 施策の推進体制</b>																
65	42	1	食育推進会議 食育推進会議を継続して開催し、本計画の進捗状況を推進したにも、必要な推進策を検討する。	令和2年度もコロナ禍のため、1回のみ書面開催としたが、全回開催することができた。また、委員の任期が1月分のため、それ日替りだったが、食育計画の策定を予定どおり終了することができた。	B	令和4年度もコロナ禍のため、1回のみ書面開催したが、全回開催することができた。	令和4年度に実施した取組み、及び令和5年度以降の課題、対策等 今後も計画策定の予定と連動して会議を開催していきたい。	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課
66	42	2	食育コーディネーターの設置 食育に関する関係機関等との連携を促進する。	令和3年度進捗状況：6件 コロナ禍を反映しているせいで、依頼が少なかった。	B	令和4年度進捗状況：5件 依頼は引き続き、コロナ禍を反映しているせいで、依頼が少なかった。	今後も引き続き継続していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課
67	42	3	食育推進事業の目標を達成するための検証委員会を開催する。	令和3年度の会議は書面会議1回だけだったが、各課担当者とは、計画策定中、何度も確認のやり取りを行った。	B	令和4年度の会議は書面会議1回、進捗状況調査の回数を増やした。また、委員会の進捗状況をそれぞれ担当の課で関係している部分について意見等をもらう。	計画策定までに時間のある時は、今年度の方法で開催してもいいと思う。	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課
68	42	4	若年層に対する対策及び食育に関する実態等の継続的な調査推進のため、大学等との連携を推進する。	若年層に対する対策及び食育に関する実態等の継続的な調査推進のため、大学等との連携を推進する。	C	令和4年度まで配布分があるので、次に作成する令和5年度以降となるのでその時には、協力を求めたい。	令和5年度に東京難多保健所中保健所主催の北多保健所関係栄養士、食生活サポートアソシエーション(保健所、学識経験者、6市健康推進関係施設職員)において若年層向けの栄養パンフレットを作成する予定なのでそちらを配布する予定。	○	○	○	○	○	○	○	○	健康課



一緒に考えていきませんか？

# 6つの「きょう食」

長年問題視されている孤食ですが、「個食」「粉食」など、食に関する様々な問題を「6つの「こ食」」としてインターネット上でも多く紹介されています。

この背景には共食の機会が減っていることがあります。しかし子どもには、豊かな人間性を育むための共食が必要です。

小金井市食育ホームページでは独自にこの共食を様々な側面から捉え、6つの「きょう食」とし、提案しています。してはいけないことばかりに目を向けるのではなく、毎日の食事を楽しむためのアイデアを、食育ホームページで見つけてください。



<http://www.koganei-style.tokyo/k-s/k-s/danran/kyosyoku>

## 1.「共食」

「共に食べる」と書いて「共食」。「共」の意味は同じであること、同一、一緒、また、同時等があります。



## 2.「協食」

「協力して食べる」と書いて「協食」。「協」の意味は、力を合わせる、話し合って物事をまとめる等があります。



## 3.「教食」

「教える食」と書いて「教食」。「教」の意味は、おしえる、信仰の教え等があります。



## 4.「興食」

「食への興味」と書いて「興食」。「興」の意味はおもしろいこと、おもしろみ、座興等があります。



## 5.「饗食」

もてなす食「饗食」。「饗」の意味は、ごちそう、供応、酒食を設けてもてなすこと、また、その酒食等があります。



## 6.「郷食」

「郷土の食」と書いて「郷食」。「郷」(きょう)の意味は、村里、いなか、ふるさと、ところ、土地等があります。



小金井市  
食育ホームページ



<http://koganei-style.tokyo/>

小金井 食育

検索



小金井市では2009年より小金井市食育ホームページを開設し食に関する様々な情報を提供しています。

市内の直売所や食に関する気になる情報を分かりやすく解説するコラム、野菜を使った簡単レシピも多数紹介。毎日の生活にぜひお役立てください。